

長年まちづくりに尽くしてきた方々を表彰



安平町では、長年にわたり町の発展やまちづくりに尽力され、さまざまな分野で活躍が顕著な方を毎年表彰しています。平成21年度町政功労賞及び町政功績賞を受けられる方々に11月10日、早来町民センターで表彰式が行われました。今回受賞された方は17名。町政功労者3名、社会功績賞4名、産業功績賞2名、教育功績賞6名、善行努力賞2名です。

町政功労賞受賞者

眞保生紀氏

教育委員をはじめ、いじめ防止対策委員、広報委員を歴任し、教育文化振興の発展に尽力。さらに、安平町総合計画策定の際には、まちづくり委員会の委員長として合併後

の新町のまちづくり計画策定の中心となり積極な推進に力を注がれました。

また早来郵便局長時代には雪だるまを全国、全世界に発送し、郵便局の名称を「早来雪だるま郵便局」に改名。全国に町の明るいイメージを発信し続けてきました。

吉田照哉氏

父・吉田善哉氏が経営された軽種馬育成を引き継ぎ、その卓越した見識と経営感覚を持って、軽種馬産業の振興に鋭意努力し、社台ファーム代表及び社台スタリオンステーション代表取締役として社台グループ会社の隆盛はめざましく、「北の大地から日本競馬史に残るサラブレッドを輩出」することを通し、北海道の軽種馬産業の振興に寄与された功績は大です。

さらに、有馬記念（GI）

優勝馬をはじめ、国内外の一流血脈を受け継ぐ有種牡馬や繁殖馬を多数繁殖され、広大な放牧地と調教施設、最新の設備、高い技術を誇るスタッフにより生産から育成まで、日夜強い馬づくりを旨とし、全国の競馬ファンの注目を浴びるなど、安平町に対する影響は大きく、町政に多大な貢献をされました。

菊池晃氏

国民健康保険運営協議会の

保険医代表委員として平成4年4月から現在まで17年以上在職。追分菊池病院長として地域医療に携わってきた経験を活かし、協議会委員として中立的かつ専門的視野から適切な提言をされ、昭和59年4月から町医、産業医、学校医として町民の健康のみならず、児童・生徒の健康管理に尽力されるとともに、子どもからお年寄りまで幅広く町民の健康保持と地域医療に多大な貢献をされました。

町政功績賞等受賞者

社会功績賞

役員13年）

高野 悟氏（自治会役員12年）

西元令子氏（文化協会役員17年6か月）

島田俊明氏（町内会役員12年3か月）

宮下政信氏（文化協会役員12年6か月）

工藤芳男氏（町内会役員14年）

小笠原愛子氏（体育指導委員12年6か月）

柚賀義治氏（交通安全指導員12年6か月）

西田孝氏（社会教育委員12年6か月）

中村幸三氏（商工会役員12年）

三上直克氏（社会教育委員12年6か月）

八木隆夫氏（商工会役員12年）

高山正志氏（益裁提供：役場庁舎）

教育功績賞

片倉芳春氏（中学校野球部外部指導者等）

大野順一氏（スケート協会

外部指導者等）